日焼けした 子らの笑顔で 輝く故郷(ふるさと)日焼けした 子らの笑顔で 輝く故郷(ふるさと) 杉妻小学校 五年 及川 知悟いそあそび 生き物もどる いわきの海	は い 見 上げる ほんと ま で 感 り し う つ く し と し と し と し る し る し る し る し る し る し る	心から 笑える福島 取り戻す 心から 笑える福島 取り戻す 福島第三小学校 六年 駒場 優吾いつの日か 風評被害 O(ゼロ)にする	砂浜に 津波のあとかた 今はなし砂浜に 津波のあとかた 今はなし 岩代幼稚園 年少 平澤 晃はじめての いわきのうみで すなあそび	県北域内奨励作品(第一次審査通過作品)	帰省して 人の多さに 胸を打つ 帰省して 人の多さに 胸を打つ 北信中学校 一年 佐藤 真維待ちわびた 相馬の海に 足いれる	灯がともる 七年半の 時を経て 灯がともる 七年半の 時を経て 二本松北小学校 三年 佐々木樹心ひさい地を つぎはぼくらが 守るばん	さ小業 せ学に る校 ぼ	県最終選考作品(第二次選考通過作品)	七年の 年月語る 防潮堤 日の 佐藤紀代美七年の 年月語る 防潮堤 荒井小学校 六年 佐藤 正規夏の海 七年ぶりの 磯遊び	県入賞作品(最優秀賞)	〜同じ時間(共に奏でる)十七字〜平成三十年度(ふくしまを十七字)
いるさとで 実りの時間 過ごしてね 山木屋小学校 六年 星 恵人ただいまと しんこきゅうした ここちよい	いて 感謝川 の が の の の の の の の の の の の の の	電子 子田 の小 笑学わ 顔校た	の地の 足となる 日本 高橋 虹がくふるさと) 作りた	庭塚小学校 二年 宍戸 忍守おいしいね みんなの言葉 うれしいな 庭塚小学校 四年 宍戸 思文ももがりに 今日もいっぱい 観光バス	校庭に 響く子の声(ほっとする) 小薯美紀子校庭に 響く子の声(ほっとする) 湯野小学校(四年)小薯・碧生福島市(ふっこうの町)がんばろう	谷持 特 が が が か が が が が が が が が が が が が が	るさと)を みんなでるさと)を みんなで	除染の 庭の土から こぼれ花 御山小学校 六年 菅野 凌央家の庭 やっとなくなる 土の山	福島南高等学校 二年 黒澤 萌夏永遠に 広がっていけ 復興の輪 杉妻小学校 六年 黒澤 唯夏故郷(ふるさと)の 復興願う みんなの和		「復興部門」県北域内選考作品集で奏でよう絆ふれあい支援事業
故郷(ふるさと)の 今年の夏は 緑増す 玉井小学校 六年 本間 瑠菜黒ぶくろ 母のふるさと 減ってきた	日 大内 真樹たくさんの 涙をこえて 今がある 石井小学校 六年 大内 力也校庭を おもいっきり走る 運動会	つ 花壇に増える 花の色の お望(のぞみ)を胸	塩沢小学校 二年 安齋 希おそとでね いっぱいあそんだ 日やけあと 母 安齋 留美ほぼ安心 寝ころぶすがた 芝の上	グ 菅野 忠幸復興へ 太鼓の音色 響かせる い国小学校 五年 菅野 忠遼父の背を あこがれながら ばちを持つ	母 野田 末子負けないで 辛い時こそ 前を向け 柱沢小学校 五年 野田 結衣いつまでも ふうかさせない その気持ち	はもう ピクピクしない 外遊び 大田小学校 六年 秋いしいね じいじが作った 野菜たち	元の姿に 戻るまで 乗野小学校 六きらめないぞ 復興を	全国へ 未来をつなぐ 聖火リレー 全国へ 未来をつなぐ 聖火リレー 梁川小学校 六年 佐藤 まりオリ・パラは みんなで盛り上げ 楽しもう	海の家 元気なおじさん 威勢よく 海の家 元気なおじさん 威勢よく 梁川小学校 五年 三浦 大宜夏休み 今年はできた 海水浴	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	瓦屋根 青いシートが 黒々と 日 加藤木ゆかりつなげよう 平和な未来 青い空 伊達小学校 五年 加藤木 琉守ろうよ ゆたかな自然 青い海

夏休み 公園行けば 人の声 兄 藤本 朗光今ではね ガラスバッジを つけてない 一句 山村 美紀校庭に 笑顔が戻る 土運び 母 山村 美紀校庭に 笑顔が戻る 土運び 日 山村 美紀 で の	が 響きわたるよ 砂管の 土さえぶめぬ グランドに舞う 大玉中学	を で で で で で で で で で で で で で	を見て立いたあの日を思い出す。 いんじょう 大学 の 大学 の 大学 の 大学 で は いいない 生活戻り 笑顔増 いい は 一年 吉田 百年 一年 一日に入る は 一様田三穂 のながら 復興望む 子の成長 は まりながら 復興望む 子の成長 は まりながら 復興望む 子の成長 は まりながら 復興望む 子の成長 は まります は まりまり は まります は まりまります は まります まります	藤 半 穂 田 晴 実 那	近道それは 助け合 霊山中学校 来年	かっと戻った 笑顔やっと戻った 白岩小学校	忘 い れ五つ		
平成30年度の県北域内の応募総数は、4,755 点(復興部門は845点)で、県最終選考作品は11点でした。(復興部門は4点)たくさんの御応募ありがとうございました。 この平成30年度「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」県北域内選考作品集は、県北教育事務所のホームページ(https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/7011 Oa/)でも御覧いただけます。 (復興部門は845点)で、県最終選考作品は11 点域の額額を収入 意識のでは、原成のでは、原成のでは、原本のでは									